

今月のことば

私の願いは
自己中心の願い
真実の願いに
耳を傾けよう

(小池秀章『現代のことばで味わう
日めくり歎異抄』より)

龍谷大学非常勤講師

こいけ ひであき
小池秀章

次のような童話に出会いました。

「ある村に、聞く地蔵(何でも願い事を叶えてくれる地蔵)と、聞かぬ地蔵(何も願い事を叶えてくれない地蔵)という、二つのお地蔵様がいました。聞く地蔵様は、願い事を何でも叶えてくれるので、村中の人が、健康で金持ちになり、みんなが幸せになりました。

ところが、みんなが幸せになると、多くの人が、『他の人よりも、もっと幸せになりたい』と思うようになりました。そして、周りの人の不幸を願うようになりました。聞く地蔵様は、そんな願いも全て叶えてくれるので、村は悲惨な状況になりました。やっと目が覚めた村人たちは、聞かぬ地蔵様にお参りするようになりました。何も叶えてくれない地蔵様なので、何も願うことなく、ただ拜んで帰りました。聞かぬ地蔵様に見守られて過ごした村人は、やがて落ち着きを取り戻し、平和な村にもどったということです」(宇野浩二『聞く地蔵と聞かぬ地蔵』参照)

とても恐い童話でした。私の願いは、突き詰めれば、自己中心の願いです。しかし、すべての人の幸せを願っていただく方がいます。それが阿弥陀さまなのです。阿弥陀さまは、自己中心の願いから離れられない私たちのことを心配し、みんなが幸せになるようにと願っていてくださるのです。そんな真実の願いに出遇った時、自己中心の願いしか持てない自らの在り方が問われると同時に、新しい生き方が生まれるのです。どんな生き方が出来るかは人それぞれですが、今までとは違った世界が開けてくるのです。

合掌